

令和3年度 第1回明石市文化財保護審議会 会議要旨

日 時	令和3年8月13日（金）午後1時30分～午後4時30分
場 所	市立文化博物館 大会議室
出席者	明石市文化財審議会委員 3名（うち会長1名） 事務局 5名（市民生活局文化・スポーツ室）
配布物	・ 令和3年度第1回文化財保護審議会次第 ・ 明石市文化財保存活用地域計画（素案概要） ・ 明石市文化財保存活用地域計画概要版 ・ 明石市文化財保存活用地域計画作成スケジュール ・ 旧大久保本陣母屋（西光寺庫裏）について ・ 令和3年度埋蔵文化財発掘調査の状況について ・ 指定文化財の保存修理状況について

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 会長・副会長の互選について

互選により、会長に冷泉氏、副会長に木村氏を選出

4. 議事

(1) 明石市文化財保存活用地域計画の素案について(報告)

事務局より資料に沿って説明

以下の意見を、事務局より明石市文化財保存活用協議会へ報告し、対応を協議する。

<主な意見>

【序章】

- ・ 「歴史」と「文化」は別のものなので、「歴史文化」とひとつの言葉になっているのが気になる。
- ・ KPIを設定するときには、明石市がこれまで歴史や文化について取り組んできたことを再確認し、そのなかでよかったこと、誇りに思えることを再認識することが大事である。そのうえで、それらをKPIに設定すればよい。

【第1章】

- ・ 明石市の歴史では、旧大久保町・魚住村・二見町が合併した経緯の記載が必要ではないか。
- ・ 第2章の内容が第1章と第3章の間でいいのか気になる。

【第3章】

- ・明石市の歴史文化の特徴として、「明石海峡を望む大地を舞台に、古代から近代まで連綿と続くものづくり、城づくり、町づくりに関わる町衆が築き上げてきた歴史文化」とあるが、町衆だけでなく、旧士族、旧漁民、旧町衆と三つ巴で作ってきたので、「町衆」という言葉を省いてはどうか。
- ・第3章「⑤近代都市明石を牽引した歴史文化」は近代でなぜ止まっているのかと感じる。「近代・現代都市を～」とすればどうか。
- ・第3章 2. 「地域別に見た歴史文化の特徴」という書き方がいいのかどうか。

【第4章】

- ・市史編さんの過程をどう今後活かしていくかを加えてもいいのではないか。
- ・市史編さんの過程で調査した明石の漁村や酒造り、瓦造りの成果を活かしてほしい。
- ・年中行事など、ハレの日に食べるものが歴史と文化を表すので、そういうあまり知られていない食文化について記載してはどうか。

【第5章】

- ・文化博物館の今後の方向性を加えてもいいのではないか。

【第6章】

- ・海を軸にした、古代からつながる、海岸がつなぐ明石と、道がつなぐ、人の流れの中での文化で捉える視点を重点地区形成に盛り込んでほしい。明石の歴史は城下町だけではない。近世までは東西に人の流れがあり、それが明石らしい重点地区になるのではないか。
- ・重点地区計画は市にひとつでなくてもいいのではないか。重点地区計画がモデルということならば、モデルは他の地域でも通用しなくてはならないが、旧明石町の内容は他の地域では通用しない。重点地区というより重点計画を考えられてはどうか。
- ・旧明石町だけが取り上げられているように感じられる。旧明石町での歴史だけで明石市があるわけではなく、それぞれの地域で色々な人たちがまちを作ってきたということが読み取りにくい。

【概要版】

- ・各章の扉をまとめた概要版での明石市の歴史の記載内容が明石東部地域に偏っている印象を受ける。5つの地域の多様性が明石市の特徴なので、その特徴がわかるようにしてほしい。
- ・概要版は各章のトップページであり、そこを見たときに現代から未来へと続くような内容が含まれているとよい。

【その他】

- ・近代と現代については、近代都市明石だけでなく、周辺の農村部や漁村部に魅力がある。また、近代は単に近世の歴史や文化の引き継ぎで成り立っているわけではないので、近代についてももう少し丁寧に記載してほしい。
- ・第1章と第3章に書かれていることに矛盾がある。第1章で歴史的背景は先史から現代と言っているが、第3章は古代から近代なので、整合性を持たせておいた方がよい。
- ・多様な明石のいろいろな姿が見えるよう、第1～3章の内容を検討してほしい。
- ・明石は現在も人口が増えているというのがとても重要で、開発が進んでいるため発掘調査が行われている現実があり、未来につながる担い手や継承が可能なまちである。そのなかで、近代までの記載で終わっているのはもったいない。
- ・発掘調査で出てきた資料についての考察などを加えてもいいのではないか。

(2) 令和3年度文化財保護調査の予定について

事務局より資料に沿って説明

<主な意見>

- ・旧大久保本陣が移築された理由はわかっているか。
⇒資料等が残っておらず、わかっていないが、払い下げを受け買い取ったと言う話を聞いている。
- ・本陣、脇本陣として名前が残っている方の末裔の方に話を聞いておいてはどうか。
- ・現状では建物の構造的には手入れが必要な状態なのか。
⇒建物の構造はしっかりしているが、一部雨漏りがしている。

(3) 令和3年度埋蔵文化財発掘調査の状況について

事務局より資料に沿って説明

<主な意見>

- ・太寺廃寺について調査は進んでいるのか。
⇒あまり文献がなく、今回の調査で新たな発見につながった。
- ・帰化人の影響は見つかっていないか。
- ・子午線上に太寺廃寺と柿本神社があるのは古代において重要な位置ということであり、興味深い。

⇒これまでの調査では帰化人の影響は見つかっていないが、今後調査を進める。

- ・織田家の武家屋敷跡で出土した朧衣壺は江戸時代のものということだが、中世以前に朧衣壺の習俗があったということはわからないか。
⇒今回の調査ではわからなかった。

(4) 指定文化財の保存修理状況について

事務局より資料に沿って説明

<主な意見>

【旧波門崎燈籠堂の火袋部の取り外し】

・コンクリートの火袋のなかに電線が通っていたということだが、その出口はどこかわかるか。

⇒おそらく階段の付け根の穴が出口と思われる。

- ・コンクリートの火袋部の劣化具合はどうか。修復も検討してほしい。
⇒屋根の四隅は鉄骨が露出しており、上部もずいぶん剥落しており、かなり傷んでいる。

- ・コンクリートの火袋部の保存はどのようにするのか。
⇒この位置（整備された敷地内）に設置する。元の姿の写真や説明を含むパネルを用意する

- ・一般には公開されているのか。
⇒これから整備を進めて、年度内に完成予定である。

【高家寺本堂の現状変更（空調機設置）】

- ・メンテナンスするときのことを考えて設置するようにしてほしい。
⇒空調機ごとに室外機を備え付けて、修理しやすいようにする。

- ・空調機本体が背が高いため、床に固定するのか。地震のときに心配だ。
⇒上部に転倒防止の金具をつける。

- ・文化財に影響を及ぼさないよう、注意して設置してほしい。
⇒設置の際には立ち会って施工内容を確認する。